

港区新橋5-15-5
交通ビル 3F

国労東日本本部

発行責任者 佐藤 勝雄
編集責任者 伊藤 隆夫

2004年4月26日

第610号

定価 20円

組合員の購読料は
組合費に含まれています

もう一人の仲間を国労に
国労加入を
大胆に訴えよう

新入社員の皆さん! 国鉄労働組合です! 「皆さんの入社を心から歓迎します」

入社式対策行動をJR東日本・貨物で取り組む!

平成17年度の新入社員、東日本1400名・貨物100名の若い仲間たちが4月1日入社式を迎え、はれてJRの社員となった。本来であれば、社内にある複数の労働組合加入はこの日から各自の自由選択であるが、不思議なことに全ての若い仲間がJR東労組・JR貨物労に加入である。こうした、偏頗な加入状況の中、「国労」としての新入社員に対する歓迎行動を今年も会社別に取り組み存在をアピールした。

JR東日本入社式行動

都内では桜の花が咲き始めた3月31日、国労東日本本部は春にはいまして遠い気温の新白河にて、組織対策行動の一環として、4月1日の入社式会場となる研修センターに前日入所に向かう今年度新入社員に対し、入社歓迎「アピール」行動を東日本各地より41名の参加で整然と展開した。

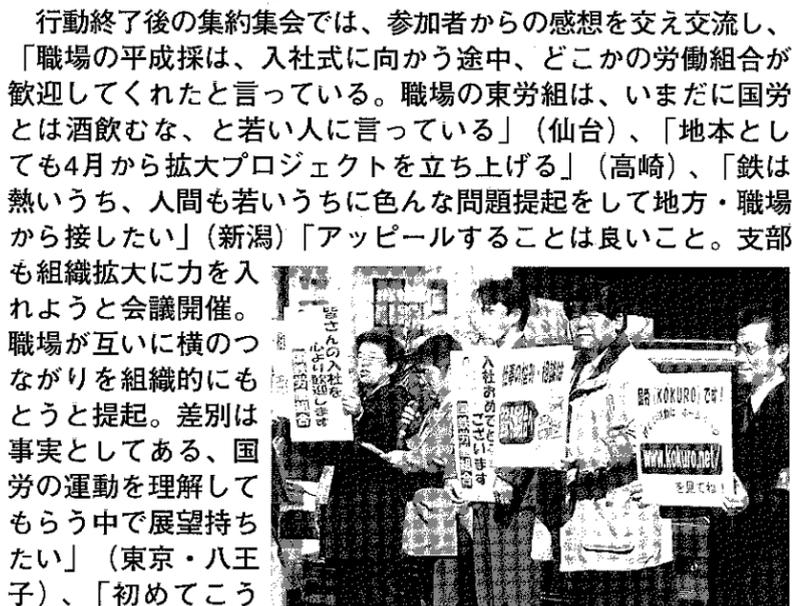
行動に先立っての意志統一で挨拶に立った伊藤書記長は2つの問題に触れ、「安定・安全輸送は真剣に考える課題。昨年連続した重大事故の『業務改善命令』に対しての会社回答直後、同じような事故が発生している。我々としては、こういう事



に対して問題提起をしていく。そのためには職場で発生している事の情報の共有が必要である。この間の偏った労務政策が今日の事態につながっていると言っても過言ではない。今日は新採対策の場である、東日本としても5月に開催する組織会議につなげ、真剣に拡大について考えて行きたい」と、参加者に檄を送った。

入社歓迎行動は、(新白河駅前)と(研修センター門前)の2つに編成し取り組み、「国労です」・「職場に配属され困ったことや不安なことがあったら職場の先輩に相談してください」などのホットなメッセージを、パネルや横断幕で視覚にアピールすると共に、入社式を目前に控え緊張の面持ちの新入社員に青年部がマイクで呼びかけた。

行動終了後の集約集会では、参加者からの感想を交え交流し、「職場の平成採は、入社式に向かう途中、どこかの労働組合が歓迎してくれたと言っている。職場の東労組は、いまだに国労とは酒飲むな、と若い人に言っている」(仙台)、「地本としても4月から拡大プロジェクトを立ち上げる」(高崎)、「鉄は熱いうち、人間も若いうちに色々な問題提起をして地方・職場から接したい」(新潟)「アピールすることは良いこと。支部も組織拡大に力を入れようと会議開催。職場が互いに横のつながりを組織的にもとうと提起。差別は事実としてある、国労の運動を理解してもらおう中で展望持たたい」(東京・八王子)、「初めてこう



いう場でマイクを持った。今日の行動が少しでも宣伝になればよいと思う」(青年部)と、参加者からの感想を交え交流し、最後に鈴木本部青対委員長より貨物会社入社式対策の行動提起、書記長のまとめ、小菅青年部長の団結ガンバローで意志統一し翌日の貨物入社式行動につなげた。

JR貨物入社式行動

4月1日、JR貨物入社式対策行動は全国貨物協議会(東京貨物協中心)・本部青年部(東日本エリア中心)・本部青年対策委員会を中心にJR貨物本社前で取り組まれました。

当日、9時30分よりシニアワーク東京で「組織対策交流会」を開催し、主催者挨拶として本部鈴木青年対委員長から青年対策委員会設置から今日までの取り組みなど報告されました。

続いて国労本部芝崎組織部長より、最高裁判決以降の政治解決に向けた取り組みの現状や北海道・東日本をはじめとした組織の状況などの報告、さらに全国貨物協議会久松議長からは貨物会社の経営状況・「NC21」での「新しい人事・賃金制度」の狙い、さらに04春闘での会社側の回答状況と合わせて東静岡機関区での国労加入の取り組みや小川敏広君の決意など報告されました。

全体交流では長野篠ノ井からは「塩尻派出に伴う遠距離配転問題」田端からは「他労組との人間関係作り」の報告をはじめ平成採用者との関わりや組織拡大に向け多くの決意も受け、東日本本部から伊藤書記長も駆けつけ、前日に行なわれた東日本入社式の報告を含め「国労が明るい職場を作っていく。そういう運動や取り組みを強めていくことが大切になっている」など報告もされました。

その後、貨物本社前に移動し、貨物協議会・青年対策委員で「心から入社を歓迎します」「私たちは国鉄労働組合です」などのプラカードを持ち、青年部員が中心になってチラシを配布しながら元気に「入社おめでとうございま〜す」と声かけを行って来ました。

しかし、一方では貨物会社は、水道橋駅から本社への移動の際、グループ(20名程度)ごとに3つのコース(遠回りをして裏の玄関に向かう道順)を用意していて、「入社式」の看板のある正面玄関から入所していくのは一部という異例な?入所方法を行い、移動時についても「チラシは受け取らないように」と意思統一を行っていた模様で、新規採用者にチラシを手渡せる状況にはありませんでした。

いずれにしても今後各職場に配属されてからどれだけ私たちが取り組みを強めるかが大きな課題になっています。



出向者連絡会役員会開催

2004年4月10日・交通ビル大会議室

国労東日本本部は「設備メンテナンスの再構築の実施」後に、2003年3月に「会社ごとに出向者連絡会」を結成しました。3年目に入り、4月10日役員会を開催しました。この間出向者の労働条件の改善を始め、各出向会社における労働実態調査から、①勤務関係、②手当、賃金関係、③労働条件、④研修及び職場環境の改善等を取り組み、少なからず改善させることが出来ました。

全体会議は、伊藤書記長の開催あいさつ、司会で始まり、佐藤委員長からあいさつを受けてその後、藤野副委員長による「設備メンテナンス」の実施後の見直し交渉（申4号・5、6号）の報告と今後の進め方、さらに申21号「設備メンテナンス体制の再構築」に伴う出向問題に関する申入れについての問題提起を受け、各出向連の役員からは、具体的な会社における問題点、取り組みが報告されました。

その後、各出向会社ごとの役員会を開催し、それぞれの会社での具体的な取り組み、日程等の意志統一を行い、全体会議で第4回「出向者連絡会総会」を9月4日に開催することを決めて、それまでに各出向会社ごとの役員会を7月～8月に行う事を意志統一しました。最後に、佐藤委員長の団結ガンパロ一で終了しました。

各出向会社ごとの役員会日程について

- ユニオン建設 7月24日13時30分(交通会館3F)
- 東鉄工業 7月24日13時
- 仙建工業 7月31日13時(仙台地本)
- 交通建設 8月21日13時(東日本本部)
- 第一建設 7月17日13時(新潟地本)
- テムズ 7月24日13時(東日本本部)
- ビルテック 調整中



出向連役員会 佐藤委員長あいさつ

国労東日本本部は2002年3月30日、出向先の労働条件の改善、安全安定輸送に責任を持つ立場から、出向先の労働条件、協力会社に働く労働者との連帯運動を進めるために「会社ごとに出向者連絡会」を結成し運動を進めてきました。

その成果が少しずつ確認できるようになりました。東鉄工業では総務部長名の文書でパートナー会社で初めて通勤超勤手当の支払いを明確にしたこと。ユニオン建設では年休の暦日単位を就業規則に明記させたこと。また月間実労働時間の月末相殺整理を改めさせ、労働時間の日々整理を定着させてきたこと。職場の努力によって深夜時間帯全てを対象に夜勤手当を支給させたこと。交通建設のように夏服の半袖・長袖をプロパーを含めた全員に一着ずつ支給させ喜ばれたところもあります。

さらに就業規則を改正させ、「休日」と「一週」の概念を明文化させたことや交通建設・ユニオン建設ではJR並みに5分間の「更衣時間」を定めさせたところもあります。言うまでもなく、不十分な点が沢山あります。それらは今後の取り組む課題・改善をめざして行かなければなりません。

10月以降出向先に残るもの、あるいは本体に復帰するものそれぞれ分かれていますが、3年間で培った連帯と経験を絆としてお互いに奮闘していくことを切に希望します。そのためには個々人の希望する道を実現するための闘いに集中していかなければなりません。

続発した輸送障害でJR東日本の信頼は大きく傷つきました。国土交通省からも鉄道事業法に基づく「改善命令」が出される非常事態となっています。その原因は「知識・技能」を均等に重視した旧国鉄時代の「教育・訓練」に対して「知識偏重・技能軽視」と東労組偏重の人事による教育・指導体制が行われていることにあります。JR東日本の職場では「マニュアル通りの仕事しかできない」「マニュアルがないと仕事ができない」という声が大きくなっています。これは経験が少なく、「五体・五官を通じてマニュアルを習得」(技能)できていないからです。昇進試験制度の差別的運用は「知識偏重・技能軽視・従順優先」というJR東日本の体質を作りだし、JR東日本の「安全安定輸送・利用者へのサービス」を破壊しているのです。

マニュアルは会社が現場の仕事进行分析し、仕事のやり方がある時点で切り取り、それを集大成したもので、仕事の「ガイドライン」や「チェックポイント」を示すモノであり、それ以上でも以下でもありません。結局は社員の技能が全てを決めるのです。「現場の実際の仕事・経験」を軽視し、「机上のテスト」を重視する「知識偏重・技能軽視」を助長する試験制度・教育・訓練制度を変えないで安全安定輸送と利用者へのサービス向上は不可能であると断じざるを得ません。

私たちは仕事総点検運動を通し「設備部門におけるメンテナンスの再構築」施策の見直しに全力を上げたいと考えます。本日はご苦労様です。



僕のがん保険は、
病気もケガも保障する。

しかも保険料が一生上がらない保障が生づく
がん保険を選ぶならアメリカンファミリーです。

健康応援団MAX
終身タイプ

21世紀がん保険 特約MAX21

「がん」の生涯保障 <21世紀がん保険>	
BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	(一時金として) がんの場合 100万円 上度内新生物の場合 10万円
入院したとき	1日につき 10,000円
手術を受けたとき	1回につき 20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円
通院したとき	1日につき 5,000円
がんで死亡したとき	10万円

※保険期間:終身・契約年齢:満3歳~満80歳・解約払戻金0コース
(引戻保険会社) 自信があります。私の医療保険。

AFIAC アメリカーンファミリー生命
東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障 <特約MAX21終身タイプ>	
ケガの保障は90歳までとなります。	ご本人の保障 [本人型]
病気で入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
ケガで入院したとき	1日につき (手術の種類により) 5・10・20万円

※保険期間:終身(ケガの保障は90歳までとなります)・疾病・災害入院給付金日額5万円
※契約年齢:満3歳~満80歳(本人型)・1回の入院については14日まで保障 ※日帰り入院(1日入院)とは、入院日=退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうか判定されます。
◎詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約書をご覧ください。

■専任代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F